

■米国：またしても電力系統設備への攻撃が発生

連邦捜査局（FBI）の2013年10月6日の発表によると、アーカンソー州において系統設備に対する外部からの攻撃が相次いで発生した。犯人はいまだ特定されておらず、現在、捜索中とされている。まず、標的とされたのはエンタジー社が所有する変電所（500kV）で、2013年9月29日に発生した火災を検証したところ、現場に「You should have expected U.S.」（「思い知れ！」ハッカー等が使用する文言）と書き残されていたことから、FBIは放火と断定した。2件目の被害は組合営電気事業者が所有する送電柱2本が、2013年10月6日に意図的に切り倒されたもので、停電被害は約1万軒におよんだ。同州では2013年8月に、何者かが送電鉄塔に上り、支線を切断する事件が発生しており、今回の2件との関連性についても検証するとしている。